

## 事前評価調書

I 事業概要																																							
事業名	農業農村整備事業（防災ダム事業）																																						
地区名	きりふさぎだい いけ 切塞第1池地区																																						
事業箇所	犬山市大字今井																																						
事業のあらまし	<p>本地区は、犬山市の北東部に位置しており、切塞第1池は地域のかんがい用水源として重要な役割を果たしている。</p> <p>しかし、堤体の耐震性不足や、洪水吐の流下能力不足により、万一、決壊した場合には、下流の人家や公共施設等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、早急に地震対策及び豪雨対策を行い、ため池決壊による被害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p>																																						
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>ため池決壊による被害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p> <p>（基準雨量：367.5mm/3日、1/200年確率雨量）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																						
事業費	事業費	内訳																																					
	0.6億円	■工事費	0.5億円	■用補費	0.0億円	■その他	0.1億円																																
事業期間	採択予定年度	2020年度	着工予定年度	2021年度	完成予定年度	2022年度																																	
事業内容	堤体工、取水兼洪水吐工 各一式																																						
II 評価																																							
①事業の必要性	1) 必要性	<p>切塞第1池は、堤体の耐震性不足や洪水吐の流下能力不足により、地震時・豪雨時には決壊する恐れがある。</p> <p>このため、堤体の耐震整備や取水兼洪水吐を改修することにより、ため池の決壊を未然に防ぎ、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>必要能力</th> <th></th> <th>切塞第1池</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">堤体の耐震化</td> <td rowspan="2">安全率</td> <td>現況</td> <td>0.944</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>1.280</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">洪水吐の改修</td> <td rowspan="2">計画排水量 (m<sup>3</sup>/s)</td> <td>現況</td> <td>1.76</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>2.26</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」（2015年9月農林水産省農村振興局整備部監修）に基づき算定したB/Cは1.63で1.0を超えている。</p>						必要能力		切塞第1池	堤体の耐震化	安全率	現況	0.944	計画	1.280	洪水吐の改修	計画排水量 (m <sup>3</sup> /s)	現況	1.76	計画	2.26																	
		必要能力		切塞第1池																																			
堤体の耐震化	安全率	現況	0.944																																				
		計画	1.280																																				
洪水吐の改修	計画排水量 (m <sup>3</sup> /s)	現況	1.76																																				
		計画	2.26																																				
判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がpある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>堤体の耐震性不足や洪水吐施設の流下能力不足により、ため池決壊の危険性が高いことから、本事業により災害の未然防止を行うことが急務であるため。</p>																																					
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・堤体工 ・取水兼洪水吐工</td> <td></td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td></td> <td>0.6</td> <td></td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table>							2020	2021	2022	合計	工種区分	調査・設計	←→				用地補償		←→			工事		←→	←→		・堤体工 ・取水兼洪水吐工		←→	←→		事業費（億円）			0.6		0.6
		2020	2021	2022	合計																																		
工種区分	調査・設計	←→																																					
	用地補償		←→																																				
	工事		←→	←→																																			
	・堤体工 ・取水兼洪水吐工		←→	←→																																			
事業費（億円）			0.6		0.6																																		

2) 地元の合 意形成	地元からの申請事業であり、事前に地元関係者への説明などを行っており、概ね合意が得られている。	
判定	<b>A</b>	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。
	【理由】 円滑に事業が実施できる環境が整っており、計画の実行性が確保されている。	
<b>Ⅲ 対応方針</b>		
事業実施が 妥当である。	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。	
<b>Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容</b>		
<p>■対象（事業完了後5年目）    □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>事業完了後5年以内に計画規模と同等の降雨が発生した場合、その効果により評価する。事業完了後5年以内に計画規模と同等の降雨が発生しなかった場合は、事業完了後5年間の最大規模の降雨により評価する。</p>		